

中谷行夫 市政活動報告



私のモットー「何ごとも明日は我が身の問題」

ごあいさつ



新型コロナウイルス感染症拡大防止により議員活動に制限が続いていますが、今年の5月頃から議員視察を受け入れる自治体が増えてきております。赤穂市議会でも議員視察が再開され、先進市の事例を参考にでき、また他会派の議員の皆様から情報収集・共有ができることで、過去の経緯を参考にさせていただき、今後の議員活動に生かせることを喜んでおります。

これからも皆様からの要望やご提案を一つでも多く、市政に反映できるよう努めてまいります。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 中谷行夫

令和4年第2回定例会（6月23日）

本会議で一般質問を行いました

1 市民活動団体への支援について

- ◆ 市民活動に対する助成制度について
- ◆ 市民活動支援の相談体制について

質問 地域の課題解決や自然、歴史、文化など地域にある特有の資源を有効活用するために、自主的、自発的に行うボランティア団体、NPO法人、防災・観光・芸術・スポーツ・健康・研究など多方面で活動する市民活動団体が数多くある。ボランティア活動にも限界があり、市民が主役、市民が主体となって活動できる環境を提供するために、市民活動に対する助成制度が必要と考える。また、市民活動を支援できる専門員を配置し、相談体制の充実が必要であると考えている。

答弁 市民主体のまちづくりには、市が支援することは必要だが、目的や効果を十分精査し交付する必要があると考えており、新たな助成制度の創設は今のところ難しいと考えている。また、市民活動を支援できる専門員を配置する考えはないが、職員のスキル向上を図り、相談に乗ってまいりたいと考えている。

3 福祉現場で働く人材の確保について

- ◆ 介護職員資格取得に対する助成制度について

質問 県内の多くの市町などように、介護保険サービス、障害福祉サービスを提供する職員の確保を図り、質の高いサービスの安定供給や福祉人材のスキルアップにつながることを目的に、介護職員初任者研修、居宅介護職員初任者研修、生活援助従事者研修、実務者研修などの研修受講費の助成制度が必要であると考えている。

答弁 福祉現場で働く人の資格取得を支援することで、人材の確保とスキルアップにつながると認識している。介護事業に対するアンケートを行い、現場の意向も確認しながら、次期介護保険事業計画において、市独自の研修受講制度の必要性や効果について検討していく。

2 重症心身障がい児(者)支援の提供体制について

- ◆ 重症心身障がい児(者)施設の充実について
- ◆ 重症心身障がい児(者)施設等への補助について

質問 医療的ケア児等を育児するご家族の介護負担を支援できる施設の充実を図るため、例えば赤穂市民病院にある病児・病後児保育事業のように市の施策として、病床の一部を利用し、病院内を活かすことや、介護保険と障害福祉のサービスを同一の事業所で一体的に提供できる施設が必要と考える。また、重症心身障がい児(者)施設等において、採算の合わない部分を市の施策として補助できないか。

答弁 市民病院の一部利用や共生型サービスについて、今後、調査・研究していく。また、民間事業者に対し、どのような支援ができるのか、今後、先進地事例の調査・研究をしていく考えである。

令和4年度委員会活動

第1回臨時会等において各委員会の委員が選出され、1年間の委員構成が決まりました。私は次の委員に選出され、日々研鑽に努めております。

- ◆ 建設水道委員会（副委員長）
- ◆ 幹線道路・河川整備特別委員会
- ◆ 市民病院経営改善調査特別委員会
- ◆ 決算特別委員会（副委員長）
- ◆ 赤穂市都市計画審議会委員



議会改革度ランキング

全国の地方議会を対象にした「議会改革度調査2021」（調査主体・早稲田大学マニフェスト研究所議会改革調査部会）の結果、赤穂市議会は調査に回答した1355議会中、厳しく695位にランクされました。結果を真摯に受け止め、開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んでまいります。

〈発行元〉 中谷行夫

〒678-0228 赤穂市松原町10-24
TEL & FAX : 0791-42-0990

【討議資料】

ホームページ: <http://nakatani-yukio.com>E-mail: y.nakatani_0706@ares.eonet.ne.jp

Facebook 中谷行夫

検索



赤穂市議会
インターネット中継
(録画映像)



赤穂市議会
議員名簿